

令和5年度 「旭区民文化センター」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	113,579,000		113,579,000	113,579,000	0	
利用料金収入	18,791,000		18,791,000	16,759,990	2,031,010	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	620,000		620,000	620,000	0	
自主事業収入	3,741,000		3,741,000	3,268,813	472,187	
雑入	670,000	0	670,000	376,253	293,747	
印刷代	120,000		120,000	63,310	56,690	
自動販売機手数料	300,000		300,000	140,716	159,284	
駐車場利用料収入			0		0	
その他（ ）	250,000		250,000	172,227	77,773	
収入合計	137,401,000	0	137,401,000	134,604,056	2,796,944	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	72,204,000	0	72,204,000	71,497,601	706,399	
給与・賃金	72,204,000		72,204,000	71,497,601	706,399	
社会保険料			0		0	
通勤手当			0		0	
健康診断費			0		0	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額			0		0	
事務費	4,976,000	0	4,976,000	4,152,829	823,171	
旅費	48,000		48,000	65,140	△ 17,140	
消耗品費	350,000		350,000	350,000	0	
会議諸い費	20,000		20,000	10,000	10,000	
印刷製本費	900,000		900,000	753,421	146,579	
通信費	800,000		800,000	638,344	161,656	
使用料及び賃借料	170,000	0	170,000	81,840	88,160	
横浜市への支払分	170,000		170,000	81,840	88,160	
その他			0		0	
備品購入費	1,100,000		1,100,000	632,546	467,454	
図書購入費	150,000		150,000	150,000	0	
施設賠償責任保険	234,000		234,000	294,660	△ 60,660	
職員等研修費	30,000		30,000	11,280	18,720	
振込手数料	4,000		4,000	13,420	△ 9,420	
リース料	1,120,000		1,120,000	1,102,178	17,822	
手数料			0		0	
地域協力費	50,000		50,000	50,000	0	
事業費	4,566,000	0	4,566,000	3,197,308	1,368,692	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	620,000		620,000	620,000	0	
自主事業費	3,946,000		3,946,000	2,577,308	1,368,692	
管理費	60,399,000	0	60,399,000	52,971,672	7,427,328	
光熱水費	17,895,000	0	17,895,000	11,515,420	6,379,580	
電気料金	10,346,000		10,346,000	5,831,414	4,514,586	
ガス料金	5,835,000		5,835,000	4,081,434	1,753,566	
水道料金	1,714,000		1,714,000	1,602,572	111,428	
清掃費			0		0	
修繕費	1,400,000		1,400,000	517,081	882,919	
機械警備費	0		0	0	0	
設備保全費	41,104,000	0	41,104,000	40,939,171	164,829	
空調衛生設備保守	16,161,000		16,161,000	16,010,626	150,374	
消防設備保守			0		0	
電気設備保守			0		0	
害虫駆除清掃保守			0		0	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	24,943,000		24,943,000	24,928,545	14,455	
共益費			0		0	
公租公課	12,000	0	12,000	2,100	9,900	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税	12,000		12,000	2,100	9,900	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	2,321,000	0	2,321,000	2,321,000	0	
本部分	2,321,000		2,321,000	2,321,000	0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	144,478,000	0	144,478,000	134,142,510	10,335,490	
差引	△ 7,077,000	0	△ 7,077,000	461,546	△ 7,538,546	

自主事業費収入				3,268,813		
自主事業費支出				2,577,308		
自主事業収支				691,505		
管理許可・目的外使用許可収入				140,716		
管理許可・目的外使用許可支出				81,840		
管理許可・目的外使用許可収支				58,876		

[横浜市旭区民文化センター]
令和５年度事業報告書
[横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立 共同事業体]

施設の概要

施 設 名	横浜市旭区民文化センター サンハート
所 在 地	横浜市旭区二俣川一丁目 3 番地
構造・規模	鉄骨コンクリート造 地下 1 階地上 6 階建の、地上 5 階および 6 階の一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 2,564 ㎡
開 館 日	平成 2 年 8 月 4 日

指定管理者

法 人 名	横浜メディアアド・相鉄・神奈川共立 共同事業体 代表構成団体 株式会社横浜メディアアド
代表団体所在地	横浜市神奈川区栄町 5 番地 1
代表団体代表者	代表取締役社長 三浦彰久
代表団体設立年月日	昭和 58 年 1 月 22 日
指 定 期 間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

1 基本方針

(1) 基本的な方針

地域コミュニティの中心的な施設として、地域に交流と活性を生み出す地域のハブ的な役割を果たすことを目的とする。多くの区民に、良質な文化芸術に触れる機会を提供し主体的に区民が文化芸術に関わる場を提供する。中でも区民が直接的に文化芸術に関わり、互いに交流できる参加型や地元企業や学校、商店街、アーティスト等と連携する地域一体型の事業に重点を置いて展開した。そしてすべての活動の基盤である施設については、新型コロナウイルス感染症への対策はもちろん、利用者・来館者が安心して利用できるよう安全性の確保を第一義とし、利用者・来館者の立場に立った施設運営を心掛けた。

実施方針

① 地域のネットワークを形成し、活用する

地域の様々な施設や団体との連携し、これまでの運営で培った地域との関係性やそのノウハウを活かしてネットワークづくりを推進する。また、地域のつながりをつくるコーディネーターとしても責任をもって機能し、文化的コモンズの形成を牽引するよう心掛けた。

② ワークショップ型事業で区民の交流を促進、担い手を育成する

文化芸術活動に興味関心を抱いた区民を「さらなる鑑賞者」「活動者」「運営者」に育成していくことと区民の交流を主眼に、多様なワークショップ型の事業を実施する。複数回で 1 クールと

なるような継続的な事業を中心に、文化芸術の体験や、スキル・ノウハウのアップの機会を提供し、区民同士の交流やつながりを創出した。

③ ユーザビリティの検証と利用者拡大のための各種サービスを検討する

利用者・来館者の立場にたった使いやすい施設運営を行う。これまでのサービス体系も見直し、時代にあったサービスの導入や利用規則の見直しなど、利用者等の意見や要望を吸い上げつつ、利用者拡大の改善策として横浜市・旭区と検討した。

④ 幅広いジャンルにわたる文化芸術への接触機会を提供する

区民が日常的に文化活動を行う場の提供として、公共性・公平性をもって誰もが利用しやすい環境を整備する。担い手の育成という観点から、特に「練習」「学習」での利用を促進した。

⑤ オンライン施策の導入と環境整備を進める

令和4年度末に実施したホームページの改修内容を更に精査し、新たなSNS導入の検討や動画配信などインターネットを使った施策に積極的に取り組む。マーケティングリサーチにTwitterを活用するなどSNSの新しい使い方を検討し、既存のアカウントも有効に活用した。

⑥ 安全・安心を優先して運営する

法令等に定められた保守・点検や日常的な保守・維持管理は当然ながら、新型コロナウイルス感染症に対し、公共施設として可能な限りの有効な感染防止対策を施し、誰もが、心から文化芸術を満喫できる施設を目指して施設運営を行う。またSDGsの観点からも、環境保全・健康等へ配慮した管理運営に努めた。

(2) 令和5年度の位置づけ

1. 事業の方針

令和5年度は、サンハートが入居するビルの大規模改修工事により4月～7月までの4か月間の休業を余儀なくされることとなった。3年来コロナ禍において数々の制約を受け、満足に活動することが出来ず、利用状況も平時の6割程度の水準に留まる中、ビル全体がリニューアルされ新たな来場者が期待出来る状況を活用しながら、「文化芸術活動は人々や社会全体の健康、幸福にとって不可欠なもの」という意識を念頭に、区民が期待する事業を展開していくと共に、同じビル内に位置する榊相鉄ビルマネジメントとの協業により力を入れ、二俣川駅前でのアウトリーチ活動に注力し、情報発信を強化すると共にサンハートの知名度向上に努めた。

1. 広報活動

年度末に実施したホームページ改修の認知度を上げていくと共に、これまで以上に快適な環境を提供し、各種SNSの有効活用によりきめ細かな情報発信に努めた。

■SNS活用例

1) HP

館の全ての情報を包括的に分かり易く掲載

2) Instagram

親子向けイベント（未就学児イベントや小学生向けイベント等）

3) Twitter

一般層（20代～60代）向けイベントや、館からのお知らせ全般

4) Facebook

Facebook の利用者離れがあるため縮小すると共に、今まで Facebook の役割を担っていた投稿は、若者の利用率が高い Instagram での発信に移行していった。

5) YouTube

自主事業に関するワークショップ参加者へ限定配信

2. 活動内容

ビル改修工事による休館期間が4か月を要し、年間通しての活動時間が制限される中、区民に好評で定着している人気コンテンツは継続し、リニューアルオープンに相応しいコンテンツを取り入れ活動していった。

主な事業として、下記コンテンツを実施

- ・二俣川ライフリニューアルオープン記念事業として相鉄ビルマネジメントと協業し著名アーティストを招聘するコンサートの開催
- ・休館中の補填活動として、指定管理者幹事企業 横浜メディアアドが当館同様に指定管理施設を運営する神奈川区民文化センター、長浜ホールへのアウトリーチ事業の展開
- ・育成事業である「アンサンブルコンテスト」を実施し、最優秀賞受賞者によるコンサート
- ・根強い人気で固定ファン層が付いている落語「あさひ亭まねき寄席」の開催
- ・低料金で良質な音楽を提供する「ワンコインコンサート」
- ・地元企業と連携するアウトリーチ事業
相鉄ビルマネジメントとの連携による二俣川駅周辺でのアウトリーチ活動の継続や、旭ジャズ祭りから結成したアマチュアバンド「Swing AJM」と連携し、あさひ名画座と共同企画実施。

2. 運営の方針

1. 利用者にとって使いやすい施設の実現

公共の施設として、誰にとっても利用がしやすい公平性のある対応を基本とし、効率性にも配慮した対応を行う。特に、アートギャラリーについては新しい利用法を提案しながら、利用の可能性を追求し、利用促進につなげていった。

2. 利用許可における公共性・公平性の確保

今年度より更新される「横浜市民利用施設予約システム」（以下「予約システム」という。）を的確に運用し、公共性・公平性の確保に努める。新たに導入予定の「キャッシュレスシステム」の運用に細心の注意を払うとともに利用内容、利用日数などの調整にあたっては、公共性・公平性に十分配慮し、より多くの利用者に施設を利用いただけるようにした。

3. 適切かつ確実な業務体制の維持

受付貸出業務については、「施設運営マニュアル」「予約システム運用マニュアル」等を整備し、全職員・スタッフが統一のとれた対応を行う。受付窓口では利用状況に応じて事務室職員も窓口業務を行うことで適切で確実な利用者対応をした。

4. 利用状況の集計・分析

「予約システム」を活用し、施設利用者を定期的に集計・分析し、利用者サービスに繋げる。また、旭区所管課にモニタリング等を通じて報告、情報を共有し、貸出業務の改善を進めていった。

3. 管理の方針

旭区民文化センターは開館して30年以上経過している。施設維持保全管理を行っていくうえで設備の経年劣化など突発的な不具合が生じる可能性が高くなることが想定されるため、ビルメンテナンスのスペシャリストとして豊富な実績やノウハウを活かして施設を維持管理する。区民に末永く施設を利用いただけるよう施設の長寿命化を目指す。

1. 一体管理によるスケールメリット

構成団体である相鉄企業は、旭区民文化センターが設置されている二俣川駅北口共同ビルの管理組合事務業務、建物維持管理業務を受託しているため、旭区民文化センターも併せた一体管理が可能で、スケールメリットを最大限に活かした維持管理業務を実現した。

2. 設備管理業務

予防保全を第一に日常点検を行う。五感を駆使した点検や検針値による数値の確認により、異臭、異音、異常な温度など、異変をいち早く察知するよう心掛けた。

専門業者による定期点検も実施し、日常点検だけではわからない設備の状況を把握した。

これらの点検内容を日々検証し、維持管理計画の見直しを行った。

3. 安全衛生

利用者や従業員の安全を確保することを第一に考え、警備・清掃を行う担当者は、常日頃から感染予防の重要性を認識して業務を行った。また、適切な感染防止対策を実施することが事業の継続性確保につながることを認識して業務に取り組んだ。

2 自主事業に関する計画

(1) 文化事業の企画および実施について

事業カテゴリーは大分類として「鑑賞事業」「交流事業」「創造事業」の3つに分け、中分類として5つに、更に小分類として7つのカテゴリーに分けて計画、実施していく。

大分類	中分類	小分類	イベント名
鑑賞事業	プロフェッショナルな芸術家による文化芸術の創造・発信	個性的な公演事業	<ul style="list-style-type: none"> ● ズーラシアンブラス（仮） ● あさひ亭まねき寄席
	未来への架け橋となる地元・若手アーティストの育成・普及	アーティストの支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 最優秀賞受賞者記念コンサート ● 気軽に寄り道コンサート ● ワンコインコンサート

			<ul style="list-style-type: none"> ● アンサンブルコンクール ● 指定管理施設合同コンサート
交流事業	地域の共生拠点・文化の発信地	文化芸術と社会的包摂	● アウトリーチ
		子供の芸術体験を支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 読み聞かせ ● すくすくキッズプログラム ● オシゴト体験
		地元との連携	● あさひ名画座企画委員
創造事業	サンハートによるプロモーション事業	参加をして楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> ● 演劇ワークショップ ● ゴスペルワークショップ ● 小規模ワークショップ
	その他・シーズン企画	その他・シーズン企画	<ul style="list-style-type: none"> ● ホールでピアノ ● アートマーケット

	取組内容	達成指標	実施内容	達成状況
鑑賞事業	プロフェッショナルな芸術家による文化芸術の創造・発信			
	<p><個性的な公演事業></p> <p>□トップレベルのアーティストによるサンハートならではの個性的な公演を開催する。</p>	<p>□リニューアルオープンを記念して、旭区にゆかりのある動物園の名称がついた「ズーラシアンブラス」に演奏を依頼。幅広い世代に人気のある出演者であるため、新規層の開拓を狙う。</p>	<p>□ジョイナステラス3とサンハートのリニューアルオープンを記念して、旭区にゆかりのある名称がついた「ズーラシアンブラス」に出演していた。</p>	<p>□三世代での来場や、旭区外からも来場があった。相鉄ビルマネジメントとも協力し、「相鉄 zoo 祭り」へのチケットプレゼントを実施。活気のある公演となった。</p>
	未来への懸け橋となる地元・若手アーティストの育成・普及			
	<p><アーティストの支援></p> <p>□アーティストが音楽活動を通じて社会貢献ができる仕組み作りをするために、人材育成をする。</p>	<p>□アンサンブルコンクールにて若手アーティストを発掘し、サンハートの顔として館内公演やアウトリーチ活動など幅広く出演依頼をする。今回のコンクールでは、新しく「ミュージカル部門」を増やし、コンクールの内容を拡充する。</p>	<p>□最優秀賞受賞記念コンサート、ワンコインコンサートに出演いただいた。また、アウトリーチに関しても積極的に声をかけ、開催となった。</p>	<p>□最優秀賞を受賞したクロレ四重奏団に、旭区内の特別支援学校でのアウトリーチを依頼。また、旭区内の保育園にて duo chamomile のアウトリーチを実施。</p> <p>コンクールで新しく設置した「ミュージカル部門」は1組の参加となったため、次年度以降認知度を高めるために新たな広報活動を行う。</p>
交流事業	地域の共生拠点・文化の発信地			
	<文化芸術と社会的包	□地域や依頼内容の特性に応じた配慮ある二	□毎年行っている「あさひ亭まねき寄席」は	□出演者によって客入りの差が目立った。

	<p>摂></p> <p>□活力ある地域社会の実現のために、文化芸術を通して人との繋がりや地域の結束を強めるほか、社会参加の機会を拡充し、地域コミュニティの発展につながる運営を行う。</p>	<p>ーズを探る。あらゆる人が音楽・芸術を通して交流できる低価格で良質なコンテンツを引き続き提供していく。</p>	<p>休館の関係で今年度は 2 回の実施となった。</p>	<p>今後は依頼している落語芸術協会とも出演者の選定や内容について検討がしていく必要がある。</p>
	<p><子供の芸術体験を支援></p> <p>□次世代の芸術文化の担い手である子供たちに対し、芸術を通して共生社会の中で書くことのできない想像力や思考力、コミュニケーション能力などの自己表現能力を養うため、文化芸術を享受できる環境づくりを整える。</p>	<p>□発達段階に応じた鑑賞プログラムや創作活動の機会を設け、子供たちの可能性を広げると同時に、成長過程で知識を育める事業展開をアプローチしていく。</p>	<p>□夏休みの時期に「オシゴト体験」を実施。</p> <p>秋に「ゴスペルワークショップ」、冬に「演劇ワークショップ」を開催し、10 代から参加できる内容を用意した。</p>	<p>□「オシゴト体験」は昨年実施したイベントのため、認知度は高く保護者からも好評をいただいている。今年度は「看護師」「音響技術者」「スポーツトレーナー」「コミュニティマネージャー」「ファッションアドバイザー」の 5 つを実施。子どもたちにとって興味の差が出ていたため、職業の選定について協議していく必要がある。YSV の撮影も入り、旭区としても注目されるイベントとなった。</p> <p>芸術関係のワークショップは、大人の中に混じることによって普段の学校生活で関わらない地域の人々と関われる環境を作ることが出来た。</p>
	<p><地元との連携></p> <p>□あさひ名画座シリーズにおいては、引き続き地域の方々を中心とした実行委員方式を取り、地域の特性に応じた配慮あるニーズを共に探っていく。</p>	<p>□事業の企画・実施及び広報など多岐に渡る運営を「あさひ名画企画委員」に委ね、地域コミュニティの一つとして確立させる。今年は旭区アマチュアバンド「Swing AJM」とコラボレーションした企画も予定している。</p>	<p>□第 30 回の記念回として、旭区アマチュアバンド「SwingAJM」とのコラボレーション企画を実施。「グレン・ミラー物語」の上映と合わせた楽曲の演奏を披露した。</p> <p>休館の関係で今年の 5 回から 2 回となった。</p>	<p>□地元で活動しているアマチュアバンドとのコラボレーション企画は出演者、観客双方から好評をいただいた。内容次第では今後もコラボレーション企画を実施していきたい。</p>
創造事業	サンハートによるプロモーション事業			
	<p><参加をして楽しむ></p> <p>□参加者同士が一つの体験を共有し、意見交換や、対話をする機会を設けることにより、コミュニティに活力を与え、社会との距離を</p>	<p>□既存のゴスペルワークショップの他、小規模のワークショップを複数設け、地域の方のサードプレイスを提供する。また演劇ワークショップは今年で 11 回目となり、リピータ</p>	<p>□令和 4 年度に引き続き、ゴスペルワークショップ、演劇ワークショップ、合気道ワークショップ、ヨガワークショップを実施した。</p>	<p>□どのワークショップも大変反響があり、非常に高い満足度を得ることが出来た。昨年からのリピーターも多く、参加をきっかけに講師の教室に通うお客様も増え、地元</p>

	近づける。	一が多く、新規参加者が参加しやすい場を提供する。		の活性化にもつながった。 演劇ワークショップでは新規参加者枠を設け、新規の方でも参加しやすい環境を作った。土日での開催を行ったため、例年より新規参加者が増え、目標達成できたと感じる。
	その他・シーズン企画			
	<その他・シーズン企画> <input type="checkbox"/> 空き施設の有効活用を目的とした企画を設ける。	<input type="checkbox"/> 施設の有効活用と収入向上のため、既存イベントであるホールの時間貸し(ピアノ練習)を引き続き実施していく。	<input type="checkbox"/> 大人気である「ホールでピアノを弾いてみませんか？」を継続。	<input type="checkbox"/> 認知度が高まっていくにつれて、本来の目的と異なる参加者が増えている。今後は参加者が企画以外でのホールや音楽ホールの利用に繋げることが課題。また友の会会員には割引サービスを実施しているため、友の会新規会員の獲得につながった。
	<input type="checkbox"/> 季節に合わせたイベントを実施し、幅広い市民に向けた他分野にまたがるコンテンツを設ける。	<input type="checkbox"/> 引き続き手作り作品を販売するアートマーケットをクリスマス前に開催し、製作者に対して作品発表の場を設けるほか、誰でも立ち寄れるレイアウトを構成。	<input type="checkbox"/> 12月にアートマーケットを開催。クリスマスやお正月準備をテーマに出店者を募集。	<input type="checkbox"/> テーマを決めて開催したため、昨年よりも会場の雰囲気がまとまり、来場者からの購入意欲が高まっているように感じた。 <input type="checkbox"/> 昨年の課題であった広報宣伝は、SNSでのショップの紹介の他、地元のイベント情報サイトや、横浜市の親子向けイベント情報サイトにも掲載され、昨年よりも認知度が上がった。

(2) 地域コミュニティの形成・社会的包摂（ソーシャルインクルージョン）の推進

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<input type="checkbox"/> 地域内の対象施設へダイレクトアプローチを行い、隠れた需要の掘り起こしに務める。	<input type="checkbox"/> 地域を絞り、カフェやケアプラザ、地域公共施設へアウトリーチ活動の宣伝資料を配布し、「要請」を受けてから企画提案を行う「受注型」だったア	<input type="checkbox"/> 昨年度ご依頼いただいた依頼先から今年度もご依頼をいただいた。	<input type="checkbox"/> コロナの影響で休止していた依頼先からのアウトリーチ依頼の他、継続して依頼をいただいている施設からのご依頼もあった。

	<p>ウトリーチから、より積極的な「企画開発型」へと進化させ、新規アウトリーチ先を増やしていく。</p>		<p>例年と違う時期での開催を希望する施設もあり、テーマや施設にあうアーティストの提案を行うことで、施設との信頼関係を築くことと、アーティストの普及活動に貢献できた。</p> <p>新規依頼獲得のため、情報サイトにて広報活動を行ったが、うまくつなげることはできなかった。次年度新規獲得に向け、さらなる検討が必要。</p>
<p>□未就学児（特に未就園児）とその親の活動の場としての需要をさらに広げ、地域コミュニティの形成へと繋げていく。</p>	<p>□未就学児や小学生の子を持つ親に、サンハートを情報収集の場として「認識」してもらえるよう、チラシ配架棚をより見やすいレイアウトにしたり、各種 SNS で未就学児向けの情報コンテンツを取り扱っていき、保護者が情報の渦に飲み込まれない土台作りを行う。</p> <p>また、保護者にヒアリングを行い、今地域で求められていることの情報収集し、事業に反映していく。</p>	<p>□未就学児向けのイベントとして「おはなしかい」「0歳からの親子で楽しむワンコインコンサート」を実施。</p> <p>今年度は昨年度より Instagram での発信に力をいれた。</p>	<p>□「おはなしかい」は月初めと前日に SNS でお知らせをすることで、周知につながった。</p> <p>おはなしかいに来てくれた人がワンコインコンサートに来てくれるなど、未就学児向けイベントの来場者が増えた。</p> <p>Instagram の活用により、未就学児の保護者層に届く情報発信ができた。また、ワンコインコンサートは様々なメディア媒体に取り上げていただいた。</p>

(3) 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成及び文化的コモンズ形成の牽引

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
□ともに作る：「あさひ名画座委員」の仕組みを継続する。	□あさひ名画座委員には、既存のイベントの他に新規企画の立ち上げを依頼し、新たな顧客層の開拓へとつなげていく。	□休館の関係で、今年度は2回の実施となった。	□近年、委員が選出した作品が地域の方にもヒットし、アンケートでも更なる作品のリクエストや上映回数増加を求める声も得ている。 他館での上映会へのチラシ挟み込みや、名画座委員が運営するSNSの活発化など、以前より委員と協力しあえる関係性を築くことが出来た。
□ともに育つ：サンハート主催事業から派生した取り組みについて、地域文化に大きく寄与する活動を「共催事業」と位置付け、独自の運営サイクルを確立するまで積極的に支援する。	□アウトリーチに関して、自主事業担当者との立ち合いがなくとも開催施設に訪問できるようにしていく。	□昨年度に引き続き、事前の聞き取り調査を丁寧に行うことにより、当日スムーズに対応できるように心がけた。 また、コロナの影響で中止していた「美音倶楽部」が再開。	□若葉台地区センターの読み聞かせについては当日運営のすべてを一任。今年度は通常のおはなし会だけではなく地区センター祭りにも参加。 これまでサンハートが主体となって実施していた「美音倶楽部」が、再開に伴い自主運営となり、新たな地域のコミュニティの場となりつつある。 今後も機材の管理についてはサンハートで支援していく予定。
□ともにつながる：サンハートが地域のためにできることを、利用者・市民・地域・関連団体等でともに検討し、地域課題を解決するアイデアを事業化するプロジェクトを、サンハートが主体となって、地域をリード	□若い世代をサンハートの利用者として取り込んでいくため、未就学児向けのイベント時に、保護者に対してアンケートや意見交換の場を設け、館	□「オシゴト体験」では、昨年度のアンケートをもとに、職業選定を実施した。	□休館のため未就学児向けイベントの開催が例年より少なかったため、来年度以降引き続きアンケート集計結果で方針を考えるよう対応する。

し推進する。	としての課題を浮き彫りにしていく。		
--------	-------------------	--	--

3 施設の運営に関する計画

(1) 顧客満足度の向上について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
□利用者サービスのさらなる向上に努め利用者ニーズに合わせたサービスを増やす。	□施設利用者の発表会を広報支援し、直近のホール・諸室の空き状況を情報コーナーに発信する等により顧客満足度を向上させる。	□引き続き利用者の発表会の広報をHP・催し物案内にて実施。当館で委託販売している公演をより分かりやすくするためにポップを作成。 横浜市市民利用施設予約システムの変更に伴い、館内への空き室情報の掲示ができなくなったため、SNSでの掲載に変更。	□リニューアルオープンに伴い、情報コーナーを一新し、利用者の発表会チラシを手に取りやすい環境づくりを行った。 また、SNSでの空き室状況の更新は通常利用者だけでなく、新規で利用を検討する方も多くみられた。 次年度以降は一時利用やはまっこカードの作成を促し、利用に繋げることが課題。
□アンケートやヒアリング等から区民・利用者のニーズを的確に把握する。	□各年実施の利用者アンケートや自主事業等の来館者アンケートをはじめ、ヒアリングの随時実施と年1回利用者懇話会を開催して、ご意見・ご要望を的確に把握しサービス向上に努める。	□利用者懇話会は、あさひ名画座からの繋がりや、普段からも音楽工房を利用して下さる「SwingAJM」に依頼した。	□施設に対しての要望だけ出なく、今後の連携企画の提案もいただいた。 予約システムについてのご要望をたくさんいただいた。
□サンハート友の会を継続し、会員へのサービス向上と共に強力なサポーターとしての関係作りを図る。	□改めてサンハート友の会の会員登録を行い、会員からの声を次年度の事業へ反映させる等施設のサポーター的存在として会の運営を行う。引き続きジョイナステラ	□リニューアルオープンしたジョイナステラスへ会員特典依頼を集い、ご協力をお願いに伺った。	□休館に伴い年会費を下げたが、継続者は少なかった。しかし「ホールでピアノを弾いてみませんか？」をきっかけに加入する方が増えた。 ジョイナステラスの

	ス各店舗と連携する など会員特典の充実 等を図り、会員数増を めざす。		新規店舗にも依頼を したが、継続店舗のみ の協力の結果となっ た。サービス向上のた め、アプローチの仕方 などを検討する必要 がある。
--	--	--	---

(2) 的確な施設提供の実現について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
□効率的且つ安定した施設の 開館・運営を行う。	□開館日数 228 日 休館日 138 日(4 月～7月ビル改修工事 の為休館) 年末年始 12 月 29 日～1 月 3 日 施設点検・消防設 備点検 14 日(休館期 間中含む)	□開館日数 228 日 休館日 138 日(4 月～7月ビル改修工事 の為休館) 年末年始 12 月 29 日～1 月 3 日 施設点検・消防設 備点検 14 日(休館期 間中含む)	□ビル改修工事によ り休館を余儀なくさ れたが安定した運営 は実施された。
□利用者アンケートや利用者 懇話会からの声を基に満足度 向上・利用促進を図る。	□様々な媒体を活用 し、施設のPRを充実 させ稼働率向上に努 める。	□アンケート収集や 利用者懇話会からの 声を積極的に取り入 れた HP の改善を实施 した。	□アンケートや懇談 会に限らず、日々利用 者から届く声にも対 応を実施した。
□施設利用者へ専門的な利用 方法等効果的なアドバイスを 行う。	□舞台技術を含め、専 門性をもった職員が 常駐して、利用者から の相談・下見・利用打 合せをはじめ、トラブ ル等緊急時にも迅速 に対応する。	□舞台技術(音響・照 明)の専門職員が常駐 し利用者の相談に丁 寧に応えると共に、利 用時もきめ細かな対 応を実施した。	□舞台技術担当職員 の対応に多くの利用 者から高い評価をい ただけた。
□周辺施設と連携して地域全 体の賑わい作りに貢献する。	□ジョイナステラス、 二俣川駅周辺商店街、 二俣川駅、並びに相鉄 線駅との連携事業を 展開していく。	□相鉄ビルマネジメ ントが主催にて実施 するジョイナステラ スの文化イベントの 会場協力等を実施し た。	□二俣川駅周辺での イベントステージに 協力することで賑わ い造りの一助を果た した。
□施設を有効活用し、施設の魅 力作り・活性化を図る。	□ワンコインコンサ ートを引き続き実施 するとともに、施設の	□「0 歳からの親子で 楽しむワンコインコ ンサート」を実施。今	□Instagram の活用を 行う事で、未就学児の 保護者層に届く情報

	有効活用を図る。	年度は昨年度より Instagram での発信に力をいれた。	発信が出来たことにより、未就学児向けイベントの来場者が増えた。
□利用者へ施設のホール・諸室の空き情報をリアルタイムで広く発信する。	□予約システムで閲覧できない、直近1ヶ月以内のホール・諸室の空き情報を更新し、施設内に発信する。	□横浜市市民利用施設予約システムの変更に伴い、館内への空き室情報の掲示ができなくなったため、SNS で情報発信した。	□SNS での空き室状況の更新は通常利用者だけでなく、新規で利用を検討する方も多くみられた。

(3) 的確な広報の展開について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
□地域・区民の文化芸術情報発信拠点としての役割を担う。	□情報コーナーでは、文化芸術の資料として雑誌・図書・情報誌を設置するほか、類似の他施設情報の紹介を行うなど文化芸術情報を得る事ができるよう整備する。	□文化芸術関係の情報コーナー周辺には、横浜市内はもとより神奈川県内各地域の公共施設情報なども用意した。	□情報コーナー（無料スペース）については、コロナが5類に移行に伴い飲食を許可し、施設ご利用者のみならず、多数の一般来館者の方々にもご利用いただいた。
□情報の内容により、最適な媒体・手段により、効率的な広報・宣伝活動を実施する。	□毎月の催し物案内発行、ホームページのリアルタイムな更新をはじめ、当事業体ならではの媒体（交通広告・広報紙等）を有効に活用しPRを行う。	□毎月発行の「催し物案内」では、発表系施設の催しや自主事業などの情報を、分かりやすく掲載するよう、工夫した。人気プログラムの申し込みを電子化した。	□電子化により利用者が増えると共に、リアルタイムでの更新に心掛けていたため、すぐに申込が埋まる状況となった。また、当日キャンセル回避に繋がり収益向上にも寄与した。

(4) 専門性と区民の力を統合する組織づくりについて

<p>[取組内容]</p> <p>□事業企画・施設管理・舞台技術の経験・実績豊かな職員・専門スタッフと、区民をはじめとした地域スタッフを配置し、全ての職員が適切なコスト感覚、効率的な管理とホスピタリティ精神をもった運営を行う。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□以下の通り人員を配置し運営する。</p> <p>【運営スタッフ】※2交代、常時2名以上配置</p> <p>館長 1名 副館長 1名 職員 5名</p> <p>【舞台技術】※利用状況により2~4名 職員 4名</p> <p>【受付スタッフ】 カルチャースタッフ13名(地域採用)</p>	<p>[実施内容]</p> <p>□【運営スタッフ】 ※2交代 常時2名以上配置 館長1名・副館長1名・職員5名</p> <p>【舞台技術者】職員4名</p> <p>※利用状況により1~3名にて対応</p> <p>【受付スタッフ】 カルチャースタッフ13名 総勢24名のスタッフが常時5名以上で運営</p>	<p>[達成状況]</p> <p>□運営スタッフ7名、舞台技術者4名、受付業務に習熟したカルチャースタッフ13名との相互協力により円滑で効率的な管理運営を実施した。</p>
<p>□職員・スタッフの施設運営スキルアップのために研修を実施する。</p>	<p>□機材研修、個人情報保護研修、消防訓練等を実施し、運営に役立てる。</p>	<p>□消防・防災訓練、個人情報保護研修等を実施した。また、各種セミナーに参加した。</p>	<p>□消防・防災訓練、個人情報研修を実施した。各種セミナーに参加することにより管理運営面のスキルアップに努めた。</p>

4 施設の管理に関する計画

利用者が安心して利用できるよう快適な環境作りを目指し、安全性、防犯性について最大限の配慮をする。サンハートは開館から30年以上経過し、設備全体が老朽化してきている。それらの状況を踏まえた上で、施設の運営に支障をきたさぬよう維持管理に努めていく。

(1) 安全で効率的な維持管理・予防保全について

<p>[業務内容]</p> <p>□安全・安心できる施設の維持</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□設備等保守管理項目を遵守し、定期的な施設点検を実施する。</p>	<p>[実施内容]</p> <p>□建築物点検マニュアル、建築物定期報告に準拠した点検を実施した。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>□二俣川駅北口共同ビル設備係協力のもと、安全な施設の維持ができた。</p>
<p>□定期的な設備点検</p>	<p>□老朽化した建築、設備のリスクマネジメント評価を行い、修繕計画の適正化を図る。</p>	<p>□建築物点検マニュアル、建築物定期報告に準拠した点検を実施すると共に、施設・設備の破損・汚損・故障などの発</p>	<p>□開館後30年を経て老朽化した施設・設備の定期点検を実施し、安全な施設の維持に努めた。</p>

		生に際しては迅速に対応した。	
□必要に応じた緊急点検	□月1回の定期的な施設点検の他に、建築物点検マニュアルに準拠した点検及び、建築物定期報告に準拠した点検を年1回行う。	□建築物点検マニュアル、建築物定期報告に準拠した点検を実施すると共に、施設・設備の破損・汚損・故障などの発生に際しては迅速に対応した。	□開館後30年を経て老朽化した施設・設備の修繕すべきところを必要性・緊急性に応じて対応した。
□施設設備の予防保全	□施設設備等の中長期修繕計画や修繕・改修について、早めに施設情報を提供し、関係各所に働きかけるとともに、利用受付・打ち合わせ時に利用者に備品や設備の正しい取り扱いを説明し、安全で確実な利用を促進する。	□修繕・改修について、早めの情報提供、関係各所への手配を実施した。また、備品や設備の取り扱い・注意事項の資料作成、掲示をした。	□日々の状態確認や専門業者による定期保守点検の結果をもとに、修繕計画の見直しや、緊急性の高いものから情報提供し、修繕・改修を要望した。

(2) 快適な環境の維持管理について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
□安心できる環境の維持	<p>以下8点を達成指標とする。</p> <p>①清掃項目一覧及び清掃内容一覧を遵守し、日常・定期清掃を実施する。</p> <p>②美観を維持するように取り組む。</p> <p>③環境に配慮し、廃棄物の発生抑制に努める。</p> <p>④空気環境測定（VOC等含む）を実施する。</p> <p>⑤社内による、業務の品質管理点検を実施し、特別清掃・日常清掃の計画を策定する。</p>	<p>① 日常清掃、定期清掃を計画どおり実施した。</p> <p>② 休館中に備品を整理し、館内景観を一新した。また、職員・スタッフ全員が常に整理整頓を心がけ、快適に利用できるよう努めた。</p> <p>③⑥ 館内にはゴミ箱を設置せず、ご利用者にはごみの持ち帰りを促した。受付カウンターおよび事務室内のごみについて減量化に努めると</p>	<p>① 各清掃をもれなく実施し、快適な環境保持と美観の維持に努めた。</p> <p>② 備品整理や配置換えをした結果、すっきりとした空間になった。情報コーナー隅に植木鉢花により、館内を明るくソフトな雰囲気にした。</p> <p>③⑥ ゴミ箱の撤去により、ごみの減量化に対する来館者の意識を高めると共に、事務室内のより</p>

	<p>⑥ヨコハマ3R夢など市の施策や事業に協力する。</p> <p>⑦空気環境測定結果の報告書を作成する。</p> <p>⑧消毒液の設置、設備・備品等の消毒作業など、新型コロナウイルス感染拡大防止に努める。</p>	<p>共に、ごみ分別を徹底した。</p> <p>④⑦ 空気環境測定を2ヵ月に1回（奇数月）実施し、報告書を作成した。</p> <p>⑤ 2ヶ月に1度、工房内機器、倉庫内の点検日を策定。</p> <p>⑧ 受付、情報コーナーに消毒液を設置した。また消毒セットを貸し出しできるよう準備した。</p>	<p>細かなごみ分別に努め、確実に実施できた。</p> <p>④⑦ 定期的に実施することにより、安心してご利用いただける環境づくりができた。</p> <p>⑤ 不具合の早期発見や損壊部品の交換等行えた。</p> <p>⑧ 新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に変更された後も感染拡大防止に努めた。</p>
--	---	---	--

その他の計画

(1) 危機管理対策について

<p>[取組内容]</p> <p>□緊急時の対応</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□緊急内容別（事故、犯罪、火災、設備故障など）に連絡網の整備を行う。</p>	<p>[実施内容]</p> <p>□緊急時連絡網を整備・作成し、旭区に提出した。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>□人事異動の都度名簿を作成したため、緊急時には遅滞なく対応を図ることが出来た。</p>
<p>□利用者の安全・安心を確保</p>	<p>□大規模災害等が発生した場合は、行政機関との連絡・協力を円滑に行えるよう訓練等を通じて体制を整える。</p>	<p>□防災設備の確認と訓練を行った。</p>	<p>□緊急時に円滑に機能するよう、全職員・スタッフが災害対策訓練に参加した</p>
<p>□防災管理</p>	<p>以下 5 点を達成指標とする。</p> <p>①平成 24 年度に作成した「帰宅困難者一時滞在施設」としての運用マニュアルに基づき訓練を実施し、緊急時に備える。</p> <p>②緊急時の連絡網を作成するとともに旭区役所へ提出する。</p> <p>③近隣在住職員を引き続き確保する。</p> <p>④事故、犯罪及び火災等を発生させない為に、職員・ビルの警備員による定時巡回を実施する。</p> <p>⑤消防計画書を作成し、自衛組織を結成することで、日常の防火・防災に努める。また、催事の際は、避難導線の確保等の指導を行うとともに</p>	<p>①研修を予定していたが当館ビルの休館および次期予約システム稼働の影響にて開催出来なかった。</p> <p>②人事異動があった際は、連絡網を都度更新・提出した。</p> <p>③当館職員およびスタッフは、相鉄線沿線在住者を中心に採用し、万が一の際に迅速な対応ができるよう備えた。</p> <p>④防災センター警備員による定時の巡回に加え、随時当館職員・スタッフが館内を巡回し、異常を早期発見・早期対応できるように努めた。</p> <p>⑤消防計画書を作成し、日頃より防火・防災に努め、安全確</p>	<p>①当館ビルの休館および次期予約システム稼働の影響により実体験を通じた研修を実施する事が出来なかった。</p> <p>②職員は常に最新の連絡網情報を得ており、有事の際はこれに基づき対応するよう周知徹底を図った。</p> <p>② 受付カルチャースタッフ 15 名と職員 3 名は、旭区在住ないし相鉄線沿線在住者で構成されている。</p> <p>④各職員・スタッフが適宜館内を巡回および事務室内モニターにて各室場内を確認し、安全・安心の確保に努めた。</p> <p>⑤消防計画書を作成</p>

	に、消防計画書および緊急時対応マニュアルに基づき年2回防火・防災訓練を実施する。	認のチェックを日々行った。また、催事の際には利用団体の責任者に対し、事前に避難誘導確保についての指導を行った。	し、防災訓練を実施した。全体が一同に会して訓練を実施することにより職員・スタッフの意識を高め、緊急時に迅速・的確な対応ができるよう備えた。
--	--	---	---

(2) 自己評価・PDCAサイクルの活用について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<input type="checkbox"/> 日報及び月報の作成・管理 (業務記録の整備)	<input type="checkbox"/> 業務記録の適正な作成・保管と共に重要な件に関して随時報告をおこなう。	<input type="checkbox"/> 日々の業務内容を業務管理日誌、舞台業務日報、業務週報に記載し、情報の共有と周知を図った。	<input type="checkbox"/> 業務管理日誌、舞台業務日報を通じて日々の業務に関する職員間の情報共有の徹底に努めた。また、受付スタッフに対しては常用連絡ノートおよびミーティング議事録の回覧などを用いて情報共有、連絡強化を図った。
<input type="checkbox"/> 業務計画書及び業務報告書の作成 ・管理(利用者のニーズや声を反映した業務計画の策定)	<input type="checkbox"/> PDCAサイクルの推進とともに重要な件に関して随時報告出来る体制づくりに取り組む。	<input type="checkbox"/> 寄せられた意見を盛り込みつつ「令和5年度事業計画書」および「令和4年度業務報告及び収支決算」を作成し旭区役所に提出した。	<input type="checkbox"/> 事業計画書及び事業報告書は旭区役所のホームページに掲載され、利用者が閲覧することが出来た。
<input type="checkbox"/> モニタリングの実施(モニタリングへの対応・体制の整備)	<input type="checkbox"/> 業務記録の一元管理によるモニタリングへの対応・体制を構築する。	<input type="checkbox"/> 月報の形式で月毎の運営管理報告を作成し、毎月旭区および共同事業体への報告を行った。	<input type="checkbox"/> モニタリングでは運営管理業務実績の報告及び業務に関する打合せを実施し、施設・旭区との情報共有、協力体制の構築を図った。

□自己評価の実施（PDCAサイクルの導入と確実な運用）	□利用者アンケートの結果や利用者の声を、常に自己評価に反映させながら施設運営に取り組む。	□毎月定期的に運営・技術職員が参加する、全体ミーティングを実施した。	□職員各々が報告・確認・提案などを行い、施設の運営管理および自主事業実施にあたっての問題を検討しながら最適な選択を行った。
-----------------------------	--	------------------------------------	---

6 収支について

(1) 経費削減の努力について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
□管理運営コストの削減に努める。	以下の3点を達成指標とする ① 無駄な光熱水費の削減 ② SDGsの観点からもチラシ等の印刷関係費を可能な限り削減し、SNSでの積極的な展開 ③ 予防保全の考え方に基づいた計画的な修繕、日常点検により不具合や破損等の早期発見による修繕費の低減	□館内照明や冷暖房のこまめなオン・オフを行い光熱費の削減に努めると同時に、当館常設の楽器類のメンテナンスにおいては極力職員により軽微な修繕を実施し削減に努めた。	□閉館に伴う収入減に対応するため修繕費や事業費を極力抑える努力を行った。また、閉館による光熱費の減少分が大きく寄与した状況となり大幅なコスト削減となった。

(2) 収入向上の努力について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
□事業収益向上、規制緩和による新規利用層の獲得	以下3点を達成指標とする。 ①幅広い世代の利用者を獲得する為にジャンルを広げた自主事業による収入増を見込むと	① 人気プログラムであるワンコインコンサートの積極的な開催や地域ボランティアの活動による「おはなし会」を積極的に展開した。	① ワンコインコンサートの未就学児対象のプログラムにおいて子育て世代の方の利用が「ロコミ」により増員傾向が継続して見られた。

	<p>共に貸館利用層の拡大を目指す</p> <p>②まだ利用率向上の余地がある諸室の利用規則の緩和や見直しを横浜市・旭区と共に検討し柔軟な対応により新規利用者層の獲得を目指す</p> <p>③諸室の空き状況をホームページにてリアルタイムに公開し、収益の向上を図る</p>	<p>② アートギャラリーの床面を防水加工に改修し、臨機応変な貸し出し対応を実施した。</p> <p>③ホームページ上に横浜市市民利用施設予約システムのリンクを貼り確認を出来るようにした。また、SNS で情報発信した。</p>	<p>② アートギャラリーの基本的な貸し出しルールを順守しながら貸し出し日数の短縮等を検討した結果、いくつか利用者を獲得することが出来た。</p> <p>③ SNS での空き室状況の更新は通常利用者だけでなく、新規で利用を検討する方も多くみられた。</p>
--	---	---	--

(3) 収支予算書

項 目	予算額	決算額	増減額	備 考
収入				
指定管理料収入	113,579,000	113,579,000	0	
利用料金収入	18,791,000	16,759,990	△2,031,010	閉館の影響による
事業収入	4,361,000	3,888,813	△472,187	
その他収入	670,000	376,253	△293,747	
収入合計	137,401,000	134,604,056	△2,796,944	

支出				
人件費	72,204,000	71,497,601	△706,399	
事務費	4,976,000	4,152,829	△823,171	
事業費	4,566,000	3,197,308	△1,368,692	
管理費	60,399,000	52,971,672	△7,427,328	閉館による光熱費減
公租公課	12,000	2,100	△9,900	
事務経費	2,321,000	2,321,000	0	
支出合計	144,478,000	134,142,510	△10,335,490	
収支差額	△7,077,000	461,546	△7,538,546	

【自主事業一覧】

(税込／単位：千円)

分類	実施時期	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・ 受講料	入場者数
鑑賞	9 月	ズーラシアンブラス（仮）	ホール	ニューアル開館に向けて、旭区にもゆかりのある動物園の名前がついたアンサンブル団体「ズーラシアンブラス」を呼び、当館の再開を盛り上げる公演を実施する。サンハートの利用客層として、普段はなかなか集客が困難な客層もターゲットになるため、新規層の開拓を狙う。	一般 2,500 円 高校生以下 1,500 円 未就学児 500 円 ペア券 4,000 円	283 名
鑑賞	計 2 回 9・1 月	あさひ亭まねき寄席	ホール	著名な真打や若手落語家による公演。落語だけではなく色物も加え、バラエティに富ん	9 月 一般 2,500 円 高校生以下 1,500 円	9 月 85 名 1 月

				だ演目で動員を図る。	ペア券 4,000 円 1 月 一般 2,000 円 高校生以下 1,000 円 ペア券 3,500 円	203 名
鑑賞	12 月	最優秀賞受賞者 記念コンサート	ホール	アンサンブルコンクールにて最優秀賞を受賞した組による、良質なクラシックコンサート。子供向けと大人向けの 2 ステージを予定しており、「クロレ四重奏団」が出演する。	11 時 一般 500 円 小学生以下 300 円 ベビーカー席 300 円 14 時 一般 1,000 円 高校生以下 800 円	11 時 137 名 14 時 174 名
鑑賞	2 月	気軽に寄り道コンサート	ホール	仕事帰りに立ち寄れる 19 時以降に開催する大人のためのコンサート。クラシックに限らず、多ジャンルのコンテンツを設ける。	一般 2,000 円 高校生以下 1,500 円	中止
鑑賞	3 月	ワンコインコンサート	ホール	アンサンブルコンクールにて優秀賞を受賞した組による、子供向け・大人向けの 2 公演コンサート。低価格なチケット料金に設定し、誰もが気軽に音楽に触れられる機会を提供する。	500 円 ベビーカー席 500 円 ※2 歳以下膝上無料	11 時 280 名 14 時 152 名
鑑賞	10 月	アンサンブルコンクール	ホール	地域のアマチュア音楽家や近隣の音大生を対象に、声楽・ピアノ連弾を中心としたアンサンブルのコンクールを実施する。今年からミュージカル部門を導入。入賞者は主催事業での出演機会提供の他、アウトリーチ事業への派遣アーティストとして、積極的に発信していく。	参加費 5,000 円	出場者 23 名
鑑賞	計 2 回 未定	指定管理施設合同コンサート (仮)	・かなつく ホール ・長浜ホール	アンサンブルコンクール受賞者の演奏機会を提供するために指定管理施設のホールを借り、演奏会実施。今まで、指定管理者施設同	一般 1,000 円 高校生以下 800 円	かなつく 81 名 長浜 85 名

				士で共同イベントを開催し、交流を深める。		
交流	計 10 回 学校 5 回 福祉 1 回 その他 3 回	アウトリーチ	旭区内各所	小学校へアーティストと共に訪問する学校プログラムその他、福祉施設や保育園等へ、出前コンサートやワークショップをお届けする。コンクール受賞者への演奏機会提供の場も兼ねている。		学校 4 回 保育園 1 回 その他 1 回
交流	月 1 回 ※休館のため 9 月から開始予定	おはなしかい	ホール	未就学児とその保護者を対象とした絵本の読み聞かせ会。サンハートの読み聞かせ講座を修了した「読み聞かせサポーター」が企画運営を担当する。館外からの依頼も積極的に引き受け、絵本の読み聞かせを通じた地域貢献を目指す。	無料	延べ 162 名
交流	通年	すくすくキッズプログラム	ホール カルチャー 工房	未就学児の中でも特に乳幼児を対象に、初めての音楽やアート、演劇といった文化芸術に触れあう機会を提供する。	未就学児向けのワンコインコンサートや音楽会をプログラムを組み入れた。	未就学児向けのワンコインコンサートや音楽会をプログラムを組み入れた。
交流	8 月	夏休み子ども体験講座「オシゴト体験」	アートギャラリー	各分野の講師を招き、夏休みの期間中に小学生を対象とした参加型の講座を開設する。今年度は毎年オープンデーで開催している「オシゴト体験」を実施。	参加費 1,100 円	延べ 129 名
交流	計 2 回 11 月・2 月	あさひ名画座企画委員	ホール	映画イベントに特化した企画・運営を行っていただく。今年は旭区アマチュアバンド「Swing AJM」とコラボレーションした企画も予定している。	11 月 一般 1,000 円 高校生以下 800 円 2 月 前売 800 円 当日 1,000 円	11 月 171 名 2 月 121 名
創造	1 月	演劇ワークショップ	ホール	講師に文学座の演出家「松井工」を迎え、演劇を通じたコミュニケーションのスキルアップ	参加費 一般 5,000 円 ユース割 4,000 円	第 1 部 19 名 第 2 部

				を目指したワークショップを開催する。今年度は、休館期間の関係もあり 2 日間という非常に短期間ワークショップになるが、リピーターだけでなく新規参加者にも参加しやすい内容で実施する。		15 名
創造	9 月～11 月	ゴスペルワークショップ	ホール	講師にゴスペルスパークル率いる「金井恵莉花」を迎え、幅広い世代を集めたワークショップを開催する。楽譜の譜読や英語の理解力は不要であり、初心者でも参加しやすい開かれたワークショップを目指す。	参加費 10,000 円 マスク代 1,500 円	第 1 部 24 名 第 2 部 32 名 本番 56 名
創造	通年	小規模ワークショップ	カルチャー工房／ミーティングルーム	サンハートが地域の方々のサードプレイスになるよう小規模ワークショップを複数開催し、「交流の場＝サンハート」の図式が定着できることを目標とする。今年度は「ヨガ」「合気道」を予定している。	ヨガ 500 円 合気道 800 円	延べ ヨガ 24 名 合気道 34 名
創造	通年	ホールでピアノ	ホール 音楽ホール	サンハートのホール・音楽ホールのフルコンサートグランドピアノを 1 時間単位で試弾できる企画。	一般 2,000 円 友の会 1,800 円	延べ 259 名
創造	12 月	アートマーケット	アートギャラリー	出店者による手作りアート作品を販売するイベント。	出店料 アートマーケット 2,500 円 ワークショップ 2,500 円	1 日目 194 名 2 日目 214 名
	通年	サンハート友の会		固定顧客層への優遇体制を整え、顧客満足度向上を図る。	1,000 円	81 名
	通年	備品購入 郵送費		自主事業に必要な備品購入費や、他館へのチラシ発送費など。		
	通年	取材・打合せ諸経費		その他諸経費		